

# Pixuspaint Users' Manual

**INDUSTRIAL GRAPHIC SYSTEM**

## CTエディットモジュール



**STUDIO BULLTERRIER**  
Computer Graphics Software

# 目 次

## 4.1 CTエディットモジュールについて

---

## 4.2 CTエディットモジュールのツール

---

### 4.2.1 ドラフト選択

### 4.2.2 ドラフト編集

### 4.2.3 手のひら

### 4.2.4 虫眼鏡

## 4.3 CTエディットモジュールのウインドウ

---

### 4.3.1 グローバルパレットウインドウ

### 4.3.2 リンクリストウインドウ

## 4.4 ローバルパレットへのリンク

---

### 4.4.1 グローバルパレット内でのカラー編集

---

## 4.1 CTエディットモジュールについて

CTエディットモジュールは、1024色のグローバルパレットヘリンクと、バンク間でのリプレースカラーを行う事が可能です。

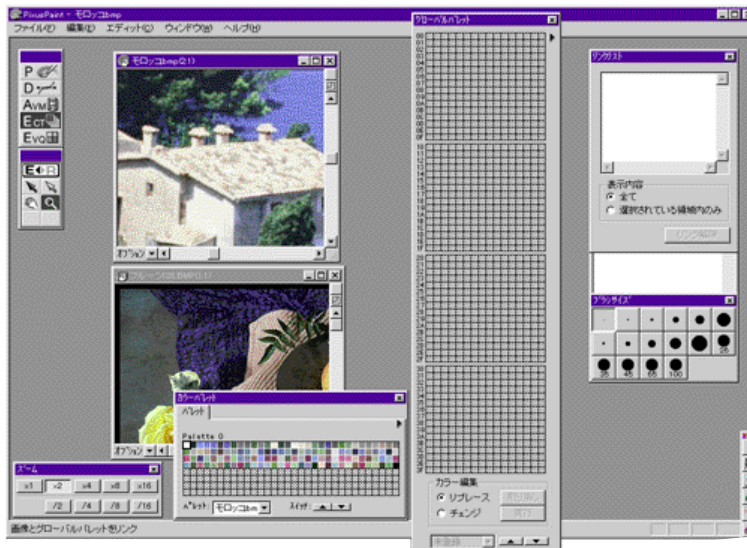
画像ドキュメントからグローバルパレットヘリンクを貼ることで、複数のドキュメントで共通の1024色パレットが使用できます。リンクを設定されたパレットはペイントモジュール上でカラー編集が可能です。このカラー編集はリンクを貼ったすべての画像にリアルタイムに反映します。

### 注 意

このモジュール内でリンクを貼った画像については基本的にundo、redoが使用できませんので、カラー編集の際は十分に注意してご使用ください。

CTエディットモジュールの画面は『図：CTエディットモジュールの画面構成』のように表示されます。

画面表示例



図：CTエディットモジュールの画面構成

## 4.2 CTエディットモジュールのツール

CTエディットモジュールのツールは『図：CTエディットモジュールのツール』の用に表示されます。



図：CTエディットモジュールのツール



ボックス選択



ボックス編集



手のひら



虫眼鏡

### 4.2.1

#### ドラフト選択

ドラフトモジュールで作成したパスを選択します。

### 4.2.2

#### ドラフト編集

ドラフトモジュールで作成したパスを編集します。

### 4.2.3

#### 手のひら

画像のスクロールを行います

### 4.2.4

#### 虫眼鏡

そのまま画像のズームイン、Altキーを押しながらクリックするとズームアウトを行います。

## 4.3 C Tエディットモジュールのウィンドウ

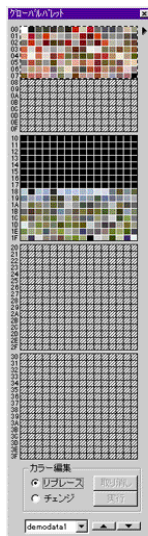
### 4.3.1

#### グローバルパレットウィンドウ

1024色のグローバルパレットです。フォーカスされた画像のリンク領域が選択範囲として破線で囲まれて表示されます。

このパレット内でカラーのリプレイスとチェンジが256色、16色単位（フォーカスのある画像のパレット色数に依存します）で可能なほか、グローバルパレットにリンクを貼った画像の256色パレットをペイントモジュールに切り替えカラー編集し、グローバルパレットにリアルタイムで反映させる事が可能です。

また、オプションからパレット情報を読み込み、グローバルパレットウィンドウ下部にあるパレット名表示と、スイッチボタンでパレット切り替えなどを行う事が可能です。



パレットのオプションから次のような操作を行う事が可能です。

保存	現在のグローバルパレットを保存します。
読み込み	すでに保存されたグローバルパレットまたはパレットリストを読み込みます。
コピーを作成	現在のパレット名表示に選択されているパレットのコピーを作成しパレットリストに登録します
ファイルから挿入	現在開いている他の画像ファイルの持つパレット情報を読み込みます。
リストから削除	リストから現在パレット名表示に選ばれているパレット情報を削除します。
リストを保存	現在パレット名表示に登録されているパレットリストを保存します。

### 注意

リンクを貼った画像については基本的にundo、redoが使用できませんので、カラー編集の際は十分に注意してご使用ください。

### 4.3.2

#### リンクリストウィンドウ

グローバルパレットにリンクを貼った画像をリスト表示します。表示内容は、グローバルパレットにリンクを行った画像すべてが表示される“全て”、グローバルパレット内で選択されている領域にリンクが貼られている画像の名前のみが表示される“選択されている領域内のみ”の2種類から選択できます（選択されている領域についてはグローバルパレットウィンドウの項を参照）。



図：リンクリストウィンドウ

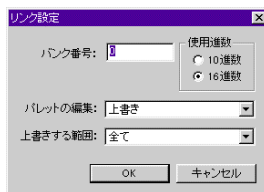
## 4.4 グローバルパレットへのリンク

グローバルパレットへのリンクは次のように行います。

画像を任意の 8 ビットカラーまで減色します。  
メニューバーのエディットから “リンク” を選択します。



『図：リンク設定ダイアログ』が開くので、“使用進数”(10進数、16進数のいずれかからラジオボタンで設定)、“バンク番号”(00、10、20、30のいずれかから設定)、“パレットの編集”(ポップアップより任意に設定)および“上書きする範囲”(ポップアップより任意に設定)を指定します。



図：リンク設定ダイアログ

OKボタンを押すとグローバルパレットへのリンク完了です。  
この後、ペイントモジュールでカラーパレットの編集を行う事が可能です。  
行ったカラー編集は同じバンクにリンクが施されている画像すべてにリアルタイムに反映します。

### 注 意

リンクを貼った画像については基本的にundo、redoが使用できませんので、カラー編集の際は十分に注意してご使用ください。

リンクを解除する際はメニューバーのエディットから “リンク解除” を選ぶか、リンクリストウインドウで任意の画像の名前を選び、“リンク解除ボタン” をクリックします。

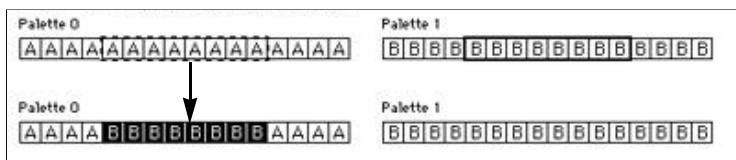
### 4.4.1

#### グローバルパレット内でのカラー編集

グローバルパレット内ではカラーのリプレースとチェンジというカラー編集が可能です。変更されるデータはカラーパレットの情報のみで、画像のカラーナンバーは塗り替えませんが、リンクされた画像すべてにリアルタイムに反映します。

リプレースとチェンジの変更内容は次の通りです。

リプレース 矩形(破線)で範囲指定したカラーを、ドラッグ先(実線)のカラーで置き換えます。



チェンジ 最初に矩形(破線)で範囲指定したカラーと、ドラッグ先(実線)のカラーを入れ換えます。

